

令和5年度 第43期

事業報告書

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

事業報告書

令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

I. 事業の状況

当年度の公益目的事業である研究助成事業に対して、総額7,000万円の予算を計上し、新規校を含め、217大学に推薦を依頼した結果、今年度は90大学（前年度95大学）より207件（前年度192件）の申請を受けた。選考については、萌芽的段階にある先駆的・独創的な研究の助成を重点とする基本方針に基づき、より公平に厳選することに努めた結果、51件を選定し7,900万円の助成をおこなった。

その他事業としての研究協賛事業に対しては、総額2,500万円の予算を計上し、理事会での審議の結果8件を選定し総額1,600万円を支給した。

1. 研究助成事業（定款第4条第1項第1号）

予算額	支出額	備考
7,000万円	7,900万円	51件助成 (特別テーマ 3件：1,500万円 基本テーマ1 40件：4,000万円 基本テーマ2 8件：2,400万円)

令和4年10月 7日 第26回理事会〔WEB会議〕を開催し、「第41回（令和5年度）研究助成候補者推薦要項」を決定した。

[別紙1参照]

(1) 申請金額

特別テーマは「SDGsの達成に向けた研究」に限定し、1件あたりの助成額を500万円とした。

基本テーマについては、申請金額別に基本テーマ1と基本テーマ2を設定し、基本テーマ1は1件あたりの助成額を100万円とし、基本テーマ2は300万円とした。

(2) 助成対象の研究分野

A系（電気・機械工学系）… 特別テーマ・基本テーマ1・基本テーマ2

対象系	分 野	分類 No	分 類
A	光・電子デバイス 材料・物性 融合技術	1	半導体関連 エレクトロニクス スピントロニクス
		2	電気・電子・磁性デバイス MEMS
		3	光デバイス 表示素子 情報記録
		4	通信・伝送用デバイス センサデバイス
		5	新素材 ナノテクノロジー関連
	システム 情報・通信 ネットワーク メカトロニクス セキュリティ 国際標準化	6	ヒューマンインターフェイス ウェラブル
		7	コンピュータ・マルチメディア信号処理
		8	ソフトウェア 知識処理 AI
		9	放送 通信 IoT
		10	計測 制御 センシング
		11	機構 ロボット
	環境 その他	12	環境エレクトロニクス (材料 新エネルギー 省資源 省エネルギー)
		13	シミュレーション科学
		14	加工法 工作法 リサイクル技術
		15	信頼性・最適デザイン

B系（医学・生理学系）… 特別テーマ・基本テーマ1・基本テーマ2

対象系	分 野	分類 No	分 類
B	健康・スポーツ ライフサイエンス	16	人間支援デバイス・システム
		17	ヒューマンエレクトロニクス ヒューマンパフォーマンス
		18	ヘルスエンジニアリング
		19	バイオエレクトロニクス関連

C系（人文科学系）… 特別テーマ・基本テーマ1

対象系	分 野	分類 No	分 類
C	人材育成 人間行動	20	人材育成に関する研究 －人材育成の方法・効果等に関する 理論的・実証的研究等－
		21	変革期における人間行動の研究 －人間を中心とした情報・生産・環境等の 関わりについての研究－
	ICT教育	22	ICTを活用した学習支援システム・学習コンテンツに関する研究

- 4月 7日 「研究助成候補者推薦要項」の発送を開始し、217大学（新規校12大学）に推薦を依頼した。
- [別紙2参照]
- 5月31日 申請を締切り、90大学より207件の推薦を受けた。
- 7月21日 令和5年度選考予備会議を開催し、「研究助成選考基準」など本年度の選考方針を確認し、各委員に個別審査を依頼した。
- 9月15日 令和5年度選考会議を開催し、各選考委員の個別選考結果をもとに 審議・選考し、研究助成金受領候補者を選出した。
- 10月 6日 第28回理事会を開催し、選考会議の研究助成金受領候補者案を承認し、51件総額7,900万円を助成することを決定した。
- [別紙3参照]
- 10月12日 推薦者（151名）及び申請者（207名）に選考結果の通知を発送した。
- 12月 1日 第41回（令和5年度）研究助成金贈呈式を挙行了した。
- 12月 6日 大学研究機関先に研究助成金の振込を開始し、総額7,900万円（51件）の研究助成金の振込を同日完了した。

2. 研究協賛事業（定款第4条第1項第2号）

予 算 額	支 出 額	備 考
2,500万円	1,600万円	8件支給 〔継続テーマ 2件： 200万円〕 〔新規テーマ 6件：1,400万円〕

令和4年10月 7日 第26回理事会〔WEB会議〕を開催し、「第14回（令和5年度）研究協賛事業実施要項」を決定した。

[別紙4参照]

令和5年 6月 1日 当財団の評議員、理事及び選考委員に対して研究協賛事業実施要項を発送し、推薦を依頼した。

8月31日 応募を締め切り、8件の推薦を受けた。

10月 6日 第28回理事会を開催し、審議した結果、8件に対して総額1,600万円の協賛金を支給することを決定した。

[別紙5参照]

10月12日 推薦者（8名）及び応募者（8名）に選考結果の通知を発送した。

12月 1日 大学研究機関先に研究協賛金の振込を開始し、総額1,600万円（8件）の研究協賛金の振込を同日完了した。

Ⅱ．処務の概要

1．役員等に関する事項

(1) 評議員 14 名

令和6年3月末日現在

職名	常勤・非常勤	氏名	就任（再任） 年月日	現職
評議員長	非常勤	檜尾 哲雄	R4. 5. 13	カシオ計算機株式会社取締役 常務執行役員
評議員	非常勤	荒木 光彦	R4. 5. 13	京都大学名誉教授 松江工業高等専門学校名誉教授
評議員	非常勤	伊藤 彰義	R4. 5. 13	日本大学名誉教授
評議員	非常勤	稲葉 和彦	R4. 5. 13	株式会社リョーサン 代表取締役 社長執行役員
評議員	非常勤	射場本忠彦	R4. 5. 13	東京電機大学学長
評議員	非常勤	岡野 光夫	R4. 5. 13	東京女子医科大学名誉教授・特任顧問 UTAH 大学客員栄誉教授
評議員	非常勤	檜尾 彰	R4. 5. 13	カシオ計算機株式会社特別顧問
評議員	非常勤	金子 元久	R4. 5. 13	筑波大学大学研究センター特命教授 東京大学名誉教授
評議員	非常勤	栗山 年弘	R4. 5. 13	アルプスアルパイン株式会社 代表取締役会長
評議員	非常勤	越田 信義	R4. 5. 13	東京農工大学名誉教授
評議員	非常勤	佐久間健人	R4. 5. 13	東京大学名誉教授 高知工科大学名誉教授
評議員	非常勤	下谷 隆之	R4. 5. 13	株式会社千修代表取締役会長
評議員	非常勤	成田誠之助	R4. 5. 13	早稲田大学名誉教授
評議員	非常勤	松井 剛一	R4. 5. 13	筑波大学名誉教授

(2) 理事 11 名

令和 6 年 3 月末日現在

職名	常勤・非常勤	氏名	就任（再任） 年月日	現職
理事長	非常勤	樫尾 隆司	R4. 5. 13	カシオ計算機株式会社専務執行役員
常務理事	常勤	飯塚 宣男	R4. 5. 13	公益財団法人カシオ科学振興財団事務局長
理事	非常勤	石原 宏	R4. 5. 13	東京工業大学名誉教授
理事	非常勤	岡村 甫	R4. 5. 13	東京大学名誉教授 高知工科大学名誉教授
理事	非常勤	樫尾 和宏	R4. 5. 13	カシオ計算機株式会社代表取締役 会長
理事	非常勤	木村 忠正	R4. 5. 13	電気通信大学名誉教授
理事	非常勤	小山 清人	R4. 5. 13	山形大学名誉教授
理事	非常勤	末松 安晴	R4. 5. 13	東京工業大学名誉教授
理事	非常勤	垂井 康夫	R4. 5. 13	東京農工大学名誉教授
理事	非常勤	眞壁 利明	R4. 5. 13	慶應義塾大学名誉教授
理事	非常勤	水野 皓司	R4. 5. 13	東北大学名誉教授

(3) 監事 2 名

令和 6 年 3 月末日現在

職名	常勤・非常勤	氏名	就任（再任） 年月日	現職
監事	非常勤	岡芹 健夫	R4. 5. 13	高井・岡芹法律事務所代表社員（弁護士）
監事	非常勤	小林 敬	R4. 5. 13	出塚会計事務所（公認会計士・税理士）

2. 職員に関する事項

令和6年3月末日現在

職名	常勤・非常勤	氏名	採用年月日	担当事務	備考
職員	常勤	中野 菜美	R5. 10. 1	庶務	カシオ計算機㈱より出向
職員	常勤	山本 順子	S63. 12. 21	同上	同上

3. 会議等に関する事項

(1) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和 5 年 5 月 12 日 第 14 回定時評議員会	① 令和 4 年度 第 42 期 事業報告及び決算の件	全会一致で承認・可決

(2) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和 5 年 4 月 14 日 第 27 回理事会	① 令和 4 年度 第 42 期 事業報告及び決算の件 ② 株主権行使の件 ③ 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決
令和 5 年 10 月 6 日 第 28 回理事会	① 第 41 回(令和 5 年度)研究助成金受領者決定の件 ② 第 14 回(令和 5 年度)研究協賛金受領者決定の件 ③ 令和 6 年度 第 44 期 事業計画及び収支予算の件 ④ 第 42 回(令和 6 年度)研究助成候補者推薦要項の件 ⑤ 第 15 回(令和 6 年度)研究協賛事業実施要項の件 ⑥ 研究助成規程一部改定の件	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決

(3) 選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和5年7月21日 (令和5年度 選考予備会議)	① 第41回(令和5年度)研究助成応募状況の報告 ② 選考方針・基準の確認	承認 承認
令和5年9月15日 (令和5年度 選考会議)	① 第41回(令和5年度)研究助成金受領候補者選出	承認

(4) 助成事業検討ワーキンググループ会議

開催年月日	内容	備考
令和6年1月26日 (第1回)	研究助成運営検討会議（意見聴取会） 出席者 理 事 飯塚 宣男（常務理事） 水野 皓司 評 議 員 越田 信義 選考委員 五十嵐 哲 定本 朋子 松山 泰男	不定期開催

4. 寄附金に関する事項

(五十音順・敬称略)

寄附の目的	寄附者	備考
特定資産に組入れ、研究 助成事業に充当すること を目的とする。	アルプスアルパイン株式会社 カシオ計算機株式会社 カシオビジネスサービス株式会社 株式会社クリエイティブ三創 株式会社千修 山形カシオ株式会社 株式会社リョーサン	
	計 7 件 2,300,000 円	

5. 内閣府公益法人行政担当への届出・提出

届出・提出年月日	届出・提出書類
令和 5 年 6 月 14 日	令和 4 年度 第 42 期 事業報告等の提出 ※電子申請
令和 6 年 2 月 15 日	令和 6 年度 第 44 期 事業計画書等の提出 ※電子申請

6. 特記事項

なし

以 上

事業報告の附属明細書

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はなし。

以 上

[別紙 1]

第 4 1 回（令和 5 年度） 研究助成候補者推薦要項

公益財団法人カシオ科学振興財団

1. 助成の趣旨

自然科学（特に電気・機械工学系）／（医学・生理学系）および人文科学の研究を助成し、わが国の学術研究の振興に寄与しようとするものです。この目的達成のため、大学研究機関の推薦協力を得て有意義な研究、特に若手研究者による萌芽的な段階にある先駆的・独創的研究を重点的に選定し、本年度の研究助成を行ないます。

特別テーマは、国連の定める「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けた研究を募集いたします。

2. 対象とする研究分野

募集する研究テーマごとに指定された研究分野からの応募が対象となります。

A…電気・機械工学系

電気工学、機械工学を中心とした 15 分類に該当する幅広いテーマが対象となります。

対象系	分 野	分類 No	分 類
A	光・電子デバイス 材料・物性 融合技術	1	半導体関連 エレクトロニクス スピントロニクス
		2	電気・電子・磁性デバイス MEMS
		3	光デバイス 表示素子 情報記録
		4	通信・伝送用デバイス センサデバイス
		5	新素材 ナノテクノロジー関連
	システム 情報・通信 ネットワーク メカトロニクス セキュリティ 国際標準化	6	ヒューマンインターフェイス ウェラブル
		7	コンピュータ・マルチメディア信号処理
		8	ソフトウェア 知識処理 AI
		9	放送 通信 IoT
		10	計測 制御 センシング
		11	機構 ロボット
	環境 その他	12	環境エレクトロニクス (材料 新エネルギー 省資源 省エネルギー)
		13	シミュレーション科学
		14	加工法 工作法 リサイクル技術
		15	信頼性・最適デザイン

B…医学・生理学系

健康維持・増進、パフォーマンス向上を目的とした電子工学と医学／生理学の学際的研究を中心とした４分類に該当するテーマが対象となります。

対象系	分 野	分類 No	分 類
B	健康・スポーツ ライフサイエンス	1 6	人間支援デバイス・システム
		1 7	ヒューマンエレクトロニクス ヒューマンパフォーマンス
		1 8	ヘルスエンジニアリング
		1 9	バイオエレクトロニクス関連

C…人文科学系

人材育成、人間行動、I C T教育の３分類に該当するテーマが対象となります。

対象系	分 野	分類 No	分 類
C	人材育成 人間行動	2 0	人材育成に関する研究 －人材育成の方法・効果等に関する 理論的・実証的研究等－
		2 1	変革期における人間行動の研究 －人間を中心とした情報・生産・環境等の 関わりについての研究－
	I C T教育	2 2	I C Tを活用した学習支援システム・学習コン テンツに関する研究

3. 募集する研究テーマ

＜特別テーマ＞

題目「SDGsの達成に向けた研究」

人類が直面している問題に関して国連の定める「持続可能な開発目標(SDGs)」のうち、いずれかの目標を達成するための課題解決に向けた研究を、先述の電気・機械工学系、医学・生理学系、人文科学系の２２分類に該当する分野から、助成金額を５００万円として募集します。

＜基本テーマ１＞

先述の電気・機械工学系、医学・生理学系、人文科学系の２２分類に該当する分野から、助成金額を１００万円として募集します。

＜基本テーマ２＞

先述の電気・機械工学系、医学・生理学系の１９分類に該当する分野から、助成金額を３００万円として募集します。

4. 対象とする研究者

大学研究機関が推薦する研究グループの代表研究者または個人研究者であり、職名については申請時点で、教授・准教授・講師・助教・助手・研究員に限ります

※ 特任助教、特定講師などの職名も、常勤である研究者は対象となります。

※ 6つの職名であっても非常勤講師など、常勤でない研究者は対象外となります。

※ ○○教員、○○研究教員など、6つの職名に該当しない研究者は対象外となります。

5. 助成金額及び件数

総額は7千万円とし、1件あたりの助成金額と件数は下記の通りといたしますが、選考結果により若干変更する場合があります。

助成金額	助成件数	総額
< 特別テーマ > 500万円	2件	1,000万円
< 基本テーマ1 > 100万円	39件	3,900万円
< 基本テーマ2 > 300万円	7件	2,100万円
計	48件	7,000万円

6. 助成期間

研究助成金受領後、原則として1年間に使用する範囲に対して助成いたします。

7. 助成金の使途

申請する助成金は、研究計画を遂行するために直接必要とする経費を計上し、申請の記載に則って使用していただきます。使途の変更は原則として認めませんが、研究目的達成のために止むを得ない場合のみ、多少の変更を認めます。

※申請者が所属する機関等の間接経費・一般管理費（オーバーヘッド）は助成の対象となりません。

8. 助成金受領者の報告の義務

助成金贈呈の1年後に研究経過及び会計を別途定める様式によって報告していただきます。助成金に残余がある場合は使用計画を明記していただき、終了後に再度会計報告を提出していただきます。

9. 推薦者／推薦件数

学部長（大学院研究科長、研究所長等を含む）とし、学部長等自らの申請の場合は、学長とします。

尚、推薦件数は基本テーマ1、基本テーマ2を合わせて、1学部3件までといたしますが、特別テーマは別枠とし、推薦件数は定めません。

10. 推薦手続

所定の「推薦書」に必要事項を記載し、「申請書」と共に1部提出してください。

また、電子データ(CD等)を必ず同封してください。(メール添付不可)

※「推薦書」「申請書」の書式は、特別テーマ・基本テーマ共通です。

※ご提出の際は、必ず学部等(所属機関)の事務局より一括してご送付ください。

11. 締切日

令和5年5月31日(水)必着といたします。

12. 選考方法及び決定

選考委員からなる選考委員会を設けて選考し、理事会で決定いたします。

13. 選考結果の通知

選考結果は、令和5年10月中旬に推薦者と申請者に対し文書により通知いたします。

14. 助成金贈呈

令和5年12月に贈呈式を行ない、申請者の所属大学口座に送金いたします。

尚、贈呈式には入選者全員のご出席をお願いいたします。(代理出席可)

【提出先及び連絡先】

公益財団法人カシオ科学振興財団

〒151-8543 東京都渋谷区本町一丁目6番2号

E-mail: zaidan@casio.co.jp

TEL (03) 5334-4747

[別紙2]

第41回（令和5年度）研究助成推薦依頼校（217大学）

1 北海道大学	41 三重大学	81 横浜市立大学	121 了徳寺大学
2 北海道教育大学	42 京都大学	82 富山県立大学	122 和洋女子大学
3 室蘭工業大学	43 京都教育大学	83 石川県立大学	123 麻布大学
4 北見工業大学	44 京都工芸繊維大学	84 公立小松大学	124 神奈川大学
5 弘前大学	45 大阪大学	85 長野県看護大学	125 神奈川工科大学
6 岩手大学	46 兵庫教育大学	86 公立諏訪東京理科大学	126 鶴見大学
7 東北大学	47 神戸大学	87 静岡文化芸術大学	127 桐蔭横浜大学
8 秋田大学	48 奈良女子大学	88 愛知県立芸術大学	128 東海大学
9 山形大学	49 和歌山大学	89 名古屋市立大学	129 横浜創英大学
10 福島大学	50 鳥取大学	90 滋賀県立大学	130 青山学院大学
11 茨城大学	51 島根大学	91 京都府立大学	131 北里大学
12 筑波大学	52 岡山大学	92 京都府立医科大学	132 杏林大学
13 筑波技術大学	53 広島大学	93 大阪公立大学	133 慶應義塾大学
14 宇都宮大学	54 山口大学	94 神戸市看護大学	134 工学院大学
15 群馬大学	55 徳島大学	95 兵庫県立大学	135 国士舘大学
16 埼玉大学	56 香川大学	96 芸術文化観光専門職大学	136 駒澤大学
17 千葉大学	57 愛媛大学	97 奈良県立医科大学	137 実践女子大学
18 東京大学	58 高知大学	98 岡山県立大学	138 芝浦工業大学
19 東京医科歯科大学	59 福岡教育大学	99 広島市立大学	139 順天堂大学
20 東京学芸大学	60 九州大学	100 山陽小野田市立山口東京理科大学	140 昭和大学
21 東京農工大学	61 九州工業大学	101 高知工科大学	141 星美学園短期大学
22 東京工業大学	62 佐賀大学	102 北九州市立大学	142 創価大学
23 東京海洋大学	63 長崎大学	103 宮崎公立大学	143 玉川大学
24 お茶の水女子大学	64 熊本大学	104 名桜大学	144 中央大学
25 電気通信大学	65 大分大学	105 北星学園大学	145 帝京科学大学
26 横浜国立大学	66 宮崎大学	106 八戸工業大学	146 帝京平成大学
27 新潟大学	67 鹿児島大学	107 東北学院大学	147 東京工芸大学
28 長岡技術科学大学	68 琉球大学	108 東北工業大学	148 東京国際工科専門職大学
29 富山大学	69 総合研究大学院大学	109 つくば国際短期大学	149 東京歯科大学
30 金沢大学	70 北陸先端科学技術大学院大学	110 国際医療福祉大学	150 東京情報デザイン専門職大学
31 福井大学	71 奈良先端科学技術大学院大学	111 自治医科大学	151 東京女子医科大学
32 山梨大学	72 公立千歳科学技術大学	112 獨協医科大学	152 東京電機大学
33 信州大学	73 岩手県立大学	113 埼玉医科大学	153 東京都市大学
34 岐阜大学	74 秋田県立大学	114 埼玉学園大学	154 東京理科大学
35 静岡大学	75 福島県立医科大学	115 埼玉工業大学	155 東邦大学
36 浜松医科大学	76 前橋工科大学	116 十文字学園女子大学	156 東洋大学
37 名古屋大学	77 埼玉県立大学	117 文教大学	157 日本大学
38 愛知教育大学	78 東京都立産業技術大学院大学	118 明海大学	158 日本女子大学
39 名古屋工業大学	79 東京都立大学	119 千葉工業大学	159 日本体育大学
40 豊橋技術科学大学	80 神奈川県立保健福祉大学	120 放送大学	160 法政大学

161 武蔵野大学	201 甲南大学
162 明治大学	202 兵庫医科大学
163 明星大学	203 武庫川女子大学
164 目白大学	204 岡山理科大学
165 立教大学	205 川崎医科大学
166 早稲田大学	206 吉備国際大学
167 事業創造大学院大学	207 就実大学
168 新潟医療福祉大学	208 広島女学院大学
169 山梨英和大学	209 広島文化学園大学
170 金沢医科大学	210 四国大学
171 金沢工業大学	211 九州産業大学
172 朝日大学	212 九州情報大学
173 岐阜医療科学大学	213 福岡大学
174 静岡理工科大学	214 福岡工業大学
175 聖隷クリストファー大学	215 西九州大学
176 愛知医科大学	216 活水女子大学
177 愛知工業大学	217 沖縄女子短期大学
178 金城学院大学	
179 中京大学	
180 中部大学	
181 名古屋国際工科専門職大学	
182 名古屋産業大学	
183 びわこ成蹊スポーツ大学	
184 京都先端科学大学	
185 京都産業大学	
186 同志社大学	
187 花園大学	
188 佛教大学	
189 立命館大学	
190 大阪医科薬科大学	
191 大阪工業大学	
192 大阪国際大学	
193 大阪体育大学	
194 大阪電気通信大学	
195 関西大学	
196 関西医科大学	
197 近畿大学	
198 相愛大学	
199 大阪キリスト教短期大学	
200 関西学院大学	

[別紙3]

第41回(令和5年度)研究助成一覧

51件 助成金総額 7,900万円

No	研究テーマ	代表研究者	助成金額
1	CO2を排出せずにプラズマで直接メタンをアセチレンに選択的に転換する効率の劇的向上	京都工芸繊維大学電気電子工学系教授 比村 治 彦	万円 500
2	水素エネルギー社会への移行を加速させる高活性燃料電池電極触媒の創製	東京理科大学理学部第一部教授 根 岸 雄 一	500
3	末梢の生物時計をマイクロ電流刺激することで「認知機能障害」の予防・治療を目指す	九州大学大学院薬学研究院教授 松 永 直 哉	500
4	立体的な構造を持つグラフェンによる高性能トランジスタの研究	筑波大学数理物質系准教授 伊 藤 良 一	300
5	リザーバーコンピューティングを実現するチップ型フォトニック素子の開発	東京工業大学工学院准教授 雨 宮 智 宏	300
6	がんを早期発見するための高コントラスト・マンモグラフィ装置の開発	名古屋大学大学院医学系研究科准教授 砂 口 尚 輝	300
7	ROV搭載型水中バイラテラル制御システムの開発	神戸大学大学院海事科学研究科准教授 元 井 直 樹	300
8	バイオミメティクスによる非線形マイクロ流路壁の実現と細胞分取デバイスへの応用	立命館大学理工学部准教授 磯 崎 瑛 宏	300
9	”生き返る”細胞の凍結乾燥保存技術の開発	山梨大学大学院総合研究部助教 若 山 清 香	300
10	示差熱検出型テラヘルツバイオセンシング技術の開発	神戸大学大学院理学研究科准教授 大 道 英 二	300
11	高精度な細胞機能評価を実現する革新的細胞診断デバイスの開発	慶應義塾大学薬学部准教授 長 瀬 健 一	300
12	昆虫嗅覚-機械ハイブリッドによる嗅覚飛行ロボットの創出	信州大学繊維学部准教授 照 月 大 悟	100
13	特異ナノ構造を利用したディラック電子系Zintl相化合物の熱電物性制御に関する研究	茨城大学工学部助教 坂 根 駿 也	100
14	タンパク質と核酸の「揺らぎ」を考慮したフレキシブルドッキングに基づく複合体モデリング技術の開発	筑波大学計算科学研究センター准教授 原 田 隆 平	100
15	知能的・知覚的に応答する柔軟構造を用いた風を受け流す飛行技術の創出	千葉大学大学院工学研究院准教授 中 田 敏 是	100
16	ポラリトン効果を設計指針とした新規アンチストークス発光材料の開発	千葉大学大学院理学研究院教授 山 田 泰 裕	100
17	HAPS社会実装に向けた複数カナード無人航空機の突風荷重軽減制御とシステム検討	東京大学大学院工学系研究科助教 森 田 直 人	100
18	オンラインアプリの活用による暗号プロトコルの新展開	電気通信大学大学院情報理工学研究科助教 宮 原 大 輝	100
19	NMR用超伝導RFコイルに向けた高特性超伝導薄膜の創製	山梨大学大学院総合研究部工学域助教 作 間 啓 太	100
20	果樹栽培管理・支援システム開発に向けた圃場画像AI解析による管理作業判定モデルの開発	信州大学農学部助教 大 迫 祐 太 朗	100

No	研 究 テ ー マ	代 表 研 究 者	助成金額
21	磁性単原子終端されたナノ構造体を用いた高輝度スピン偏極電子源の開発	三重大学大学院工学研究科准教授 永 井 滋 一	万円 100
22	シリコン光集積回路による量子分類手法の確立	香川大学創造工学部助教 小 野 貴 史	100
23	近赤外光を選択的に吸収する透明色素の開発	奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科准教授 荒 谷 直 樹	100
24	生体脳の生後発達を模した人工知能モデルの開発と、人の知覚特性との類似性の検証	岩手県立大学ソフトウェア情報学部准教授 眞 田 尚 久	100
25	大規模農地を対象としたエゴマ栽培における株間除草ロボットの走行時雑草判別の研究	富山県立大学工学部准教授 澤 井 圭	100
26	高エネルギー落雷の発生検知・予測を目的とした雷エネルギー観測網の構築	公立小松大学生産システム科学部准教授 山 下 幸 三	100
27	デジタルホログラフィック顕微鏡による液晶オンシリコン空間光変調器のサブピクセル応答評価	青山学院大学理工学部助教 前 田 智 弘	100
28	光合成光捕集システムを模倣した量子ナノアンテナ開発のための数値シミュレーション	北里大学理学部教授 岡 寿 樹	100
29	自動ガス供給システム付き縦型流路分離式CVDによるウェハサイズTMDC薄膜の安定的合成技術の開発	東邦大学理学部講師 柳 瀬 隆	100
30	炭素材料の複合利用によるバイオマス由来カーボンを用いた多機能導電助剤の開発	日本大学工学部助教 江 口 卓 弥	100
31	脳ー計算機ー超音波閉ループによる脳疾患の実時間制御	北海道大学大学院薬学研究院准教授 竹 内 雄 一	100
32	喜び・悲しみ・怒り・恐怖の情動が上下肢筋の皮質脊髄路興奮性に及ぼす影響の解明	東京大学大学院総合文化研究科助教 金 子 直 嗣	100
33	ソフトアクチュエータの蠕動運動による細胞組織塊の高速形成	東京農工大学大学院工学研究院准教授 倉 科 佑 太	100
34	実空間課題における予期的注視を用いた自己効力感の定量的計測にむけた巧緻性計測デバイスの開発	東京農工大学大学院工学研究院助教 辻 愛 里	100
35	肥満が運動抵抗性を惹起するメカニズムの解明と応用-数理モデルを用いた解析-	電気通信大学大学院情報理工学研究科准教授 星 野 太 佑	100
36	腸内細菌が脳機能に与える影響の解明	金沢大学医薬保健研究域准教授 倉 石 貴 透	100
37	事象関連電位測定による乱流現象の視覚に対するヒト生理心理反応の解明	三重大学大学院工学研究科助教 高 橋 護	100
38	高精度放射線治療における次世代品質管理法の確立に関する研究	京都大学医学部附属病院特定助教 小 野 智 博	100
39	気液界面制御によるオルガノイドのコンビナトリアル培養	京都大学大学院工学研究科助教 藤 本 和 也	100
40	高齢者の下向き歩行を脱却させるVRシステムの開発	東京都立大学大学院人間健康科学研究科教授 樋 口 貴 広	100

No	研 究 テ ー マ	代 表 研 究 者	助成金額
41	生体電気インピーダンス法による体成分分析を応用した尿路上皮がん患者の新規がん悪液質治療戦略の開発	名古屋市立大学大学院医学研究科研究員 三 村 佳 久	万円 100
42	溶液試料の核磁気共鳴(NMR)の感度を室温で約1000倍のオーダーで向上させた創薬NMR実験法の開発	北里大学薬学部准教授 杉 木 俊 彦	100
43	開発途上国向けスマートフォン診断支援システム	早稲田大学人間科学学術院准教授 岡 崎 善 朗	100
44	日米大学連携によるグローバル・シティズンシップ育成の理論的研究と開発	東京大学大学院教育学研究科教授 福 留 東 土	100
45	産後早期の夫婦の抑うつ症状を予防するための育児の役割分担の在り方の検討	大阪大学大学院医学系研究科教授 白 石 三 恵	100
46	シミュレーション教育を活用した人材育成システムの開発	岡山大学学術研究院医歯薬学域助教 辻 憲 二	100
47	沖縄の教職員の休職率低減のための実証的研究	琉球大学グローバル教育支援機構教授 西 本 裕 輝	100
48	小学校女性管理職を増加・維持させる要因は何か？	宮崎公立大学人文学部准教授 寺 町 晋 哉	100
49	場所同一性の行動学—行動再現モデルの検証	駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部講師 青 柳 西 蔵	100
50	プレゼンテーション練習支援のための聴講者ロボット構築に関する研究	関西大学システム理工学部教授 小 尻 智 子	100
51	算数学習における「他者の考え方の解釈」を促進する一人一台端末活用授業の開発に関する研究	札幌市立北陽小学校教諭 瀧ヶ平 悠 史	100

※所属・職名は助成時

[別紙 4]

第14回（令和5年度） 研究協賛事業実施要項

公益財団法人カシオ科学振興財団

1. 協賛事業の趣旨

わが国の学術研究の振興と産業の発展を目的として、将来有望な成果が期待される研究テーマ・研究活動を当財団の人脈を活用して発掘し協賛することを通じて、その育成をはかります。

2. 対象とする研究分野

- ・学術振興…わが国の学術研究をリードすると期待される独創性のある優れた研究テーマ
- ・産業発展…わが国の産業発展への貢献が有望な研究テーマ

3. 対象とする研究者

わが国の大学機関に所属する常勤の教授・准教授・講師・助教・助手。

4. 協賛金額

総額は2,500万円とし、1件あたり100万円単位で限度額は300万円といたします。

5. 協賛期間

研究協賛金受領後、原則として1年間に使用する範囲に対して協賛いたします。
研究が長期にわたる場合、理事会にて審議の上、最大3年間までの継続を認めます。

6. 協賛金の使途

研究計画を遂行するために直接必要とする経費を計上し、計画書の記載に則って使用していただきます。使途の変更は原則として認めませんが、研究目的達成のために止むを得ない場合のみ多少の変更を認めます。

※代表研究者が所属する機関等の間接経費・一般管理費（オーバーヘッド）は協賛の対象となりません。

7. 協賛金受領者の報告の義務

協賛金支給の1年後に研究成果論文及び会計報告を別途定める様式によって報告していただきます。

8. 推薦者／推薦件数

当財団の評議員・理事・選考委員のいずれか1名の推薦を要します。

9. 応募方法

令和5年6月1日（木）に評議員・理事・選考委員に実施要項を送付いたしますので以下の手順で書類をご提出ください。

- (1)推薦者より協賛金受領候補となる研究活動及び代表研究者を事務局に連絡
- (2)事務局より推薦者に研究協賛推薦書及び研究協賛計画書を電子データで送付
- (3)推薦者は推薦書を作成し、代表研究者に計画書の作成を依頼
- (4)締切日までに推薦者より事務局に推薦書・計画書（捺印書類と電子データ）を提出

10. 締切日

令和5年8月31日（木）必着といたします。

11. 選考方法及び決定

理事会で審議の上、決定いたします。

12. 選考結果の通知

選考結果は、令和5年10月中旬に推薦者と（代表）研究者に対して文書により通知いたします。

13. 協賛金支給

選考結果通知後、代表研究者の所属大学口座に送金いたします。

【提出先及び連絡先】

公益財団法人カシオ科学振興財団
〒151-8543 東京都渋谷区本町一丁目6番2号
E-mail: zaidan@casio.co.jp
TEL (03) 5334-4747

[別紙 5]

第14回(令和5年度)研究協賛事業一覧

8件 協賛金総額 1,600万円

No	研 究 テ ー マ	代 表 研 究 者	協賛金額
1	プロセスインフォマティクスを活用した最適2軸変形条件による高強度バイオ生分解性プラスチックの開発	山形大学大学院有機材料システム研究科准教授 西 辻 祥太郎	万円 100
2	オンライン診療にて患者が好印象を抱く医療者のコミュニケーション態度:表情・声・動作・会話の定量化	北里大学医療衛生学部准教授 市 倉 加奈子	100
3	鉄依存性細胞死フェロトーシスを制御する転写因子動態の解明と細胞治療戦略への応用	東北大学大学院医学系研究科教授 五十嵐 和 彦	300
4	テキストで声質・発話スタイルを指定可能な音声合成システムを構築するためのデータ収集およびモデル構築	名古屋工業大学大学院工学研究科准教授 橋 本 佳	300
5	視覚障害者支援における眼内閃光の利用可能性	東京電機大学理工学部助教 金 丸 真奈美	300
6	全光型磁化反転可能な光学・磁性薄膜構造の探索	日本大学理工学部助教 吉 川 大 貴	100
7	家族による介護の質向上を目指した被介護者の仰臥位圧力分布からの生体内部構造可視化	日本大学理工学部助教 村 上 知 里	100
8	障害等による機能低下、体型変化等に配慮した衣服の開発と普及のための基盤整備	金城学院大学生生活環境学部教授 平 林 由 果	300

※所属・職名は協賛時